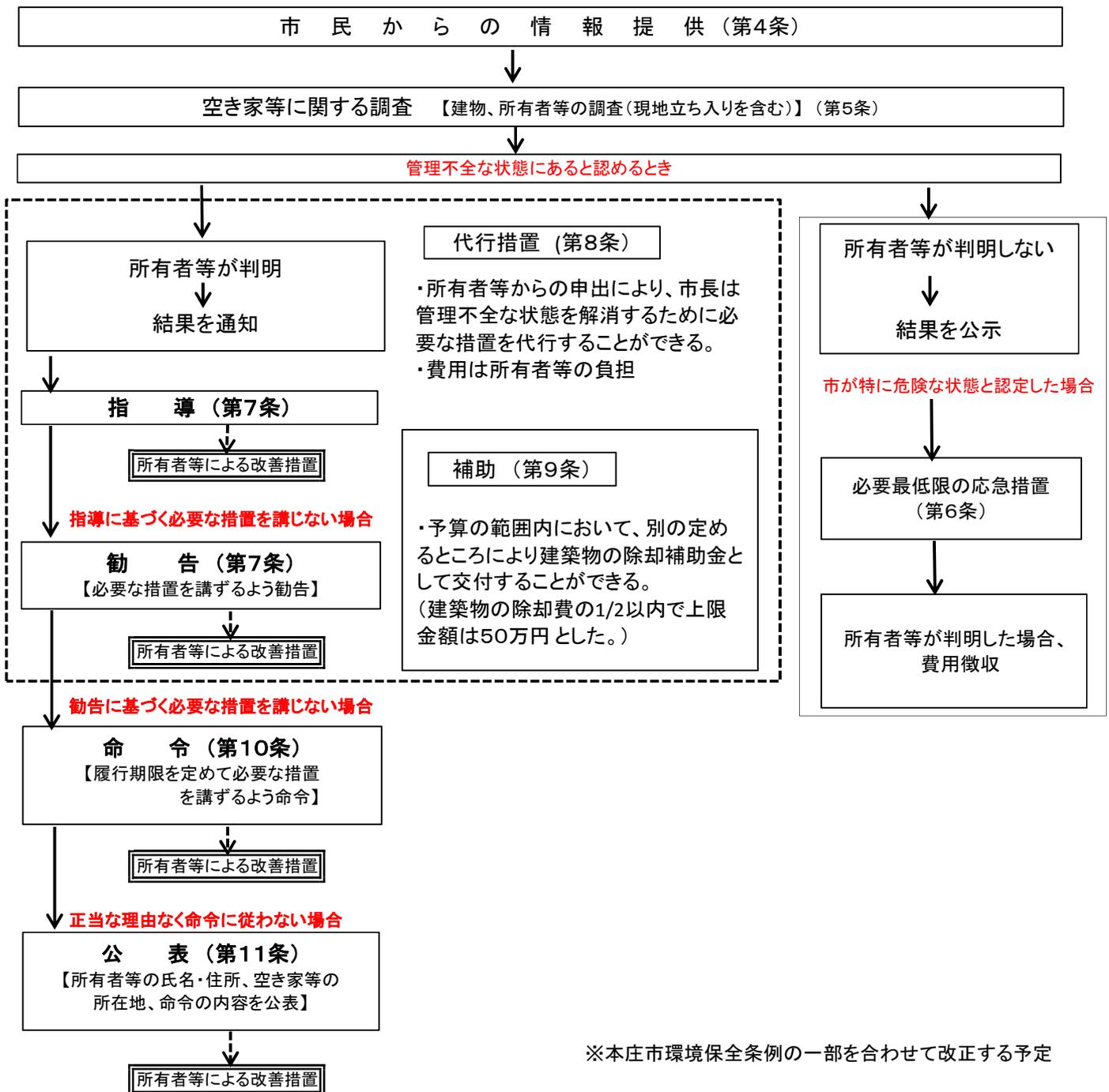


【条例制定の背景】

近年、全国的に「空き家」が大きな社会問題になっています。本市においても、空き家等に関する苦情相談が寄せられており喫緊の課題となっています。昨年10月に実施しました「空き地・空き家の状況把握に関するアンケート調査」では、6割の市民が近所に空き地・空き家があると答え、そのうち6割を超える方がその空き地・空き家に「建物の倒壊」、「火災・延焼事故」、「建材の落下等」、「雑草繁茂等」などの問題を感じていると回答しています。

また、今後は人口の減少などにより、こうした管理不全な空き家等が増加することが懸念されます。

そこで、本市では、空き家等の管理を適正化することにより、倒壊等の事故、犯罪及び火災を防止し、並びに衛生上の支障を除去し、もって安全で安心な住環境を確保するため、「本庄市空き家等の適正管理に関する条例」(案)を6月定例会に提案することとしました。



※本庄市環境保全条例の一部を合わせて改正する予定

日本初の完形品・点数も全国一の

ガラス小玉鑄型が出土しました

完形品としては日本初であり、破片を含めた出土点数もこれまでの最多である23点を大幅に上回る110点を数える「ガラス小玉鑄型」が出土しました。

これらは、本庄東中学校の校舎建設に伴う発掘調査（概要下記）により発見されたもので、教育委員会では、学識経験者に所見（詳細別紙）をいただき、今後は専門機関でより詳しい分析を行っていただく予定です。

なお、一部資料については、6月4日（火）から歴史民俗資料館で公開します。

<発掘調査の概要>

調査期間 平成24年7月2日（月）～平成25年3月31日（日）

発見の場所 薬師堂東（やくしどうひがし）遺跡
（本庄市日の出4丁目地内所在 調査対象面積 5,756 m²）

調査実施機関 本庄市教育委員会文化財保護課

調査の成果 検出遺構 竪穴式住居跡 約300軒
（古墳時代～奈良・平安時代）
土 坑 約400基（古墳時代～中世）
溝 跡 3 条
検出遺物 土師器・須恵器・ガラス製品・石製品・土製品
獣骨・貝類など

<ガラス小玉鑄型について>

ガラス小玉鑄型は直径3～5mmのガラス小玉（ビーズ玉）を製作するための鑄型である。鑄型は良質の粘土を焼いて上面にガラスを熔融して小玉をつくるための小孔（型孔という）が100個以上開いている。型孔の中心には、ガラス小玉の紐通し孔を確保するための小さな芯立て孔が開けられ、下面まで貫通している。ガラス小玉の製作は、型孔の中心に芯を立て、ガラス粉を型孔に充填し、これを窯の内部で加熱し、型孔内部のガラス粉を熔融させることによって行われていたと推定されている。

<薬師堂東遺跡出土のガラス小玉鑄型について>

薬師堂東遺跡では、7世紀前半から中葉にかけての、完形品1点を含む110点の鑄型片が出土している。

ガラス小玉鑄型は、これまでも九州、近畿、中部、関東地方など4世紀から8世紀の遺跡で発見されているが、完形品の出土は全国で初めてである。また、一遺跡での出土点数も、大阪府柏原市舟橋遺跡での23点がこれまで最多であったが、薬師堂東遺跡での110点という出土点数の多さは他を圧倒する。

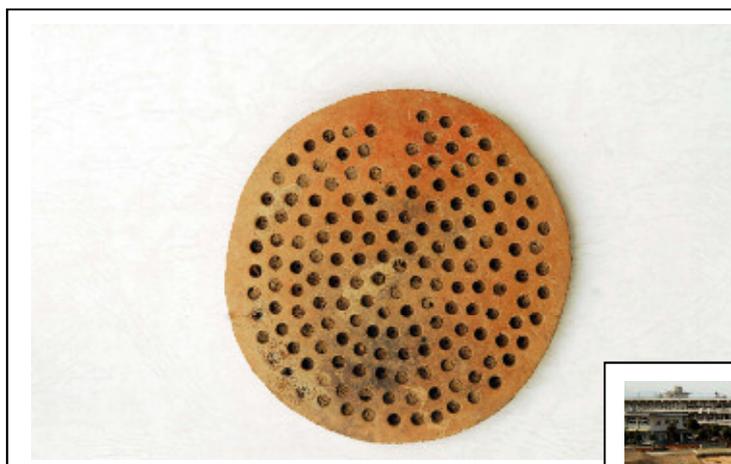
ガラス小玉鑄型は、いずれも廃絶後の竪穴住居に遺棄された状態で出土しているが、融解したガラスが付着するものが観察されること、出土点数が多いことから、付近にガラス小玉を生産していた工房が存在していたことが推測される。

型穴の径には、鑄型片によって違いがみられることから、大きさの異なるガラス小玉が作り分けられていたことが考えられる。

鑄型片の一部には、型穴の内部に溶着した状態で、ガラス小玉が遺存している。これらのガラス小玉には、発色の異なる個体が見られることから、複数種のガラスが材料として使用されていたことが推測される。

<今後の課題>

ガラス素材やガラス小玉を鑄型から容易に離脱させるために用いられていたと考えられる「離型剤（りけいざい）」などの理化学的な検証を通じた技術系譜の究明、これまで不明とされている芯材の特定、遺跡の性格の解明などが今後に残された課題である。



ガラス小玉鑄型の完形品（上）と遺跡の遠景（右）

ガラス小玉鑄型は、直径約14cm、厚さ約1cm。型穴は161孔。

【歴史民俗資料館】

本庄市中央1-2-3

開館時間：午前9時～午後4時30分

休館日：月曜日、祝日、毎月末、年末年始

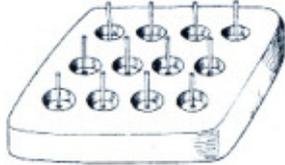
入館料：無料

<問い合わせ先> 本庄市教育委員会 文化財保護課 ☎0495-25-1186

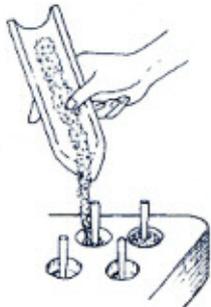
参考資料

■ 鑄造方法解説

1. 小孔のなかに穿たれた細孔に心棒を立てる。



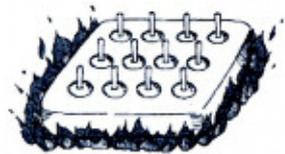
2. 小孔のなかにガラス材を入れる。



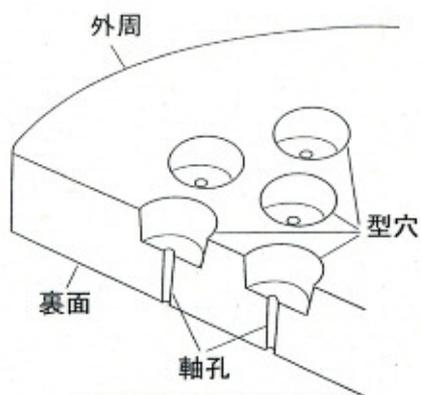
小孔断面図



3. 加熱してガラス材を溶かし、その後冷却して、ガラス材が固まり、心棒を抜き取り、鑄型より取り出せば、ガラス小玉が完成する。

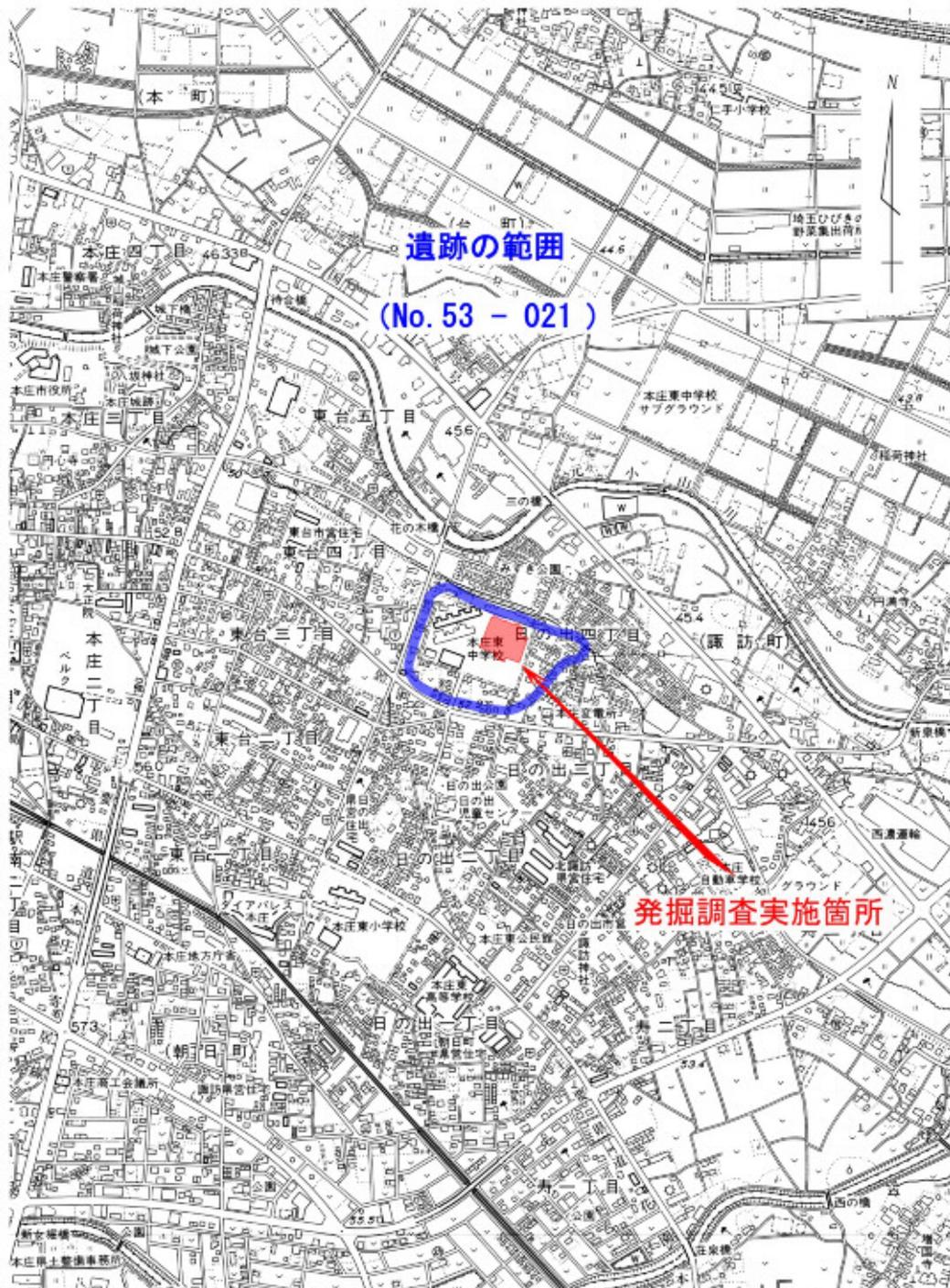


東京都北区飛鳥山博物館ホームページ より



ガラス小玉鑄型各部名称図

京嶋 覚 2009 「ガラス小玉鑄型出土の意義」
『古代学研究』182 古代学研究会 より



発掘調査実施箇所位置図 (S=1/10,000)

新しい市内交通サービスの 愛称を募集！！！！

～「デマンド交通（市街地部及び児玉山間地域）」と
「（仮称）本庄シャトル便（本庄駅～本庄早稲田駅）」～

平成25年10月1日（火）から「デマンド交通（市街地部及び児玉山間地域）」と「（仮称）本庄シャトル便（本庄駅～本庄早稲田駅）」を運行します。

この新しい市内交通サービスが市民に親しまれ、幅広く利用していただけるように愛称を募集します。愛称は、車体や停留所に表示します。

◎ 応募期間 平成25年6月3日（月）～7月3日（水）必着

◎ 募集内容

- ① 本庄北地域・本庄南地域・児玉市街地の3地域の「デマンド交通」の愛称
- ② 児玉山間地域の「デマンド交通」の愛称
- ③ 「（仮称）本庄シャトル便（本庄駅～本庄早稲田駅）」の愛称

◎ 審査基準

- ・覚えやすく、親しみのあるもの
- ・個人名、団体名、商品名を入れないこと（他社の知的財産権を侵害しないもの）
- ・自作、未発表のもの

◎ 応募資格・応募点数

どなたでも何点でも応募できます

◎ 応募方法

裏面の応募用紙に必要事項を記入の上、市役所市民ホール及び児玉総合支所総務課に設置してある投票箱へ直接持参するか、企画課へ郵送、FAX、電子メールで応募できます。

◎ 記念品

応募いただいた愛称が採用となった方には、新交通サービス開始時のオープニングセレモニーにおいて、10名の方（抽選）に記念品をさしあげます。

◎ 結果発表

採用となった愛称を応募された方に通知するとともに、広報ほんじょう及び本庄市ホームページに掲載いたします。

◎ お問い合わせ先

本庄市役所企画財政部企画課

住 所：〒367-8501 埼玉県本庄市本庄3-5-3

電 話：0495-25-1157（直通）

F A X：0495-21-8499

E-mail：kikaku@city.honjo.lg.jp

※お問い合わせは、午前8時30分から午後5時15分まで（土・日・祝日は除きます。）

F A X 送 信 先 0 4 9 5 - 2 1 - 8 4 9 9

F A X にて送信される場合は、上記送信先まで送信してください。

「デマンド交通（市街地部及び児玉山間地域）」

愛称応募用紙

「（仮称）本庄シャトル便（本庄駅～本庄早稲田駅）」

① デマンド交通 （本庄北地域・本庄南地 域・児玉市街地）	愛称名	
	理 由	
② デマンド交通 （児玉山間地域）	愛称名	
	理 由	
③ （仮称）本庄シャ トル便（本庄駅～本庄 早稲田駅）	愛称名	
	理 由	

※愛称は、各枠に1つ記入してください。

住 所	〒		
ふりがな		年 齢	小学校 歳
氏 名			
電話番号	()		

※下記に同意いただける場合には□に「レ」を入れてください。

応募した愛称が採用となった場合、氏名、年齢（小学生については学校名含む）の公表に同意します。

応 募 締 切
平成25年7月3日(水)
必 着



平成25年10月1日(火) スタート!!!



新たな市内交通サービスのご紹介

市では、市民のみなさんの利用促進が図られるような公共交通サービスの見直しを行うため「本庄市総合交通計画」にもとづき、現在運行している「市内循環バス」と「いずみ号」を9月末で終了します。それに替わり新たに①本庄北地域、②本庄南地域、③児玉市街地、④児玉山間地域の4地域に分けた「デマンド交通」と「(仮称)本庄シャトル便(本庄駅～本庄早稲田駅)」を10月1日(火)にスタートします!

➤ 「デマンド交通」ってなに??

「デマンド交通」とは、利用者の予約がある時にだけ車両を運行する方式で、利用者は電話で利用日・時刻・どこからどこまでいきたいのかなどを申し込んでいただきます。予約が確定したら約束の場所から乗車していただき、乗合いで目的地へ向かうシステムです。

〇運行のイメージ



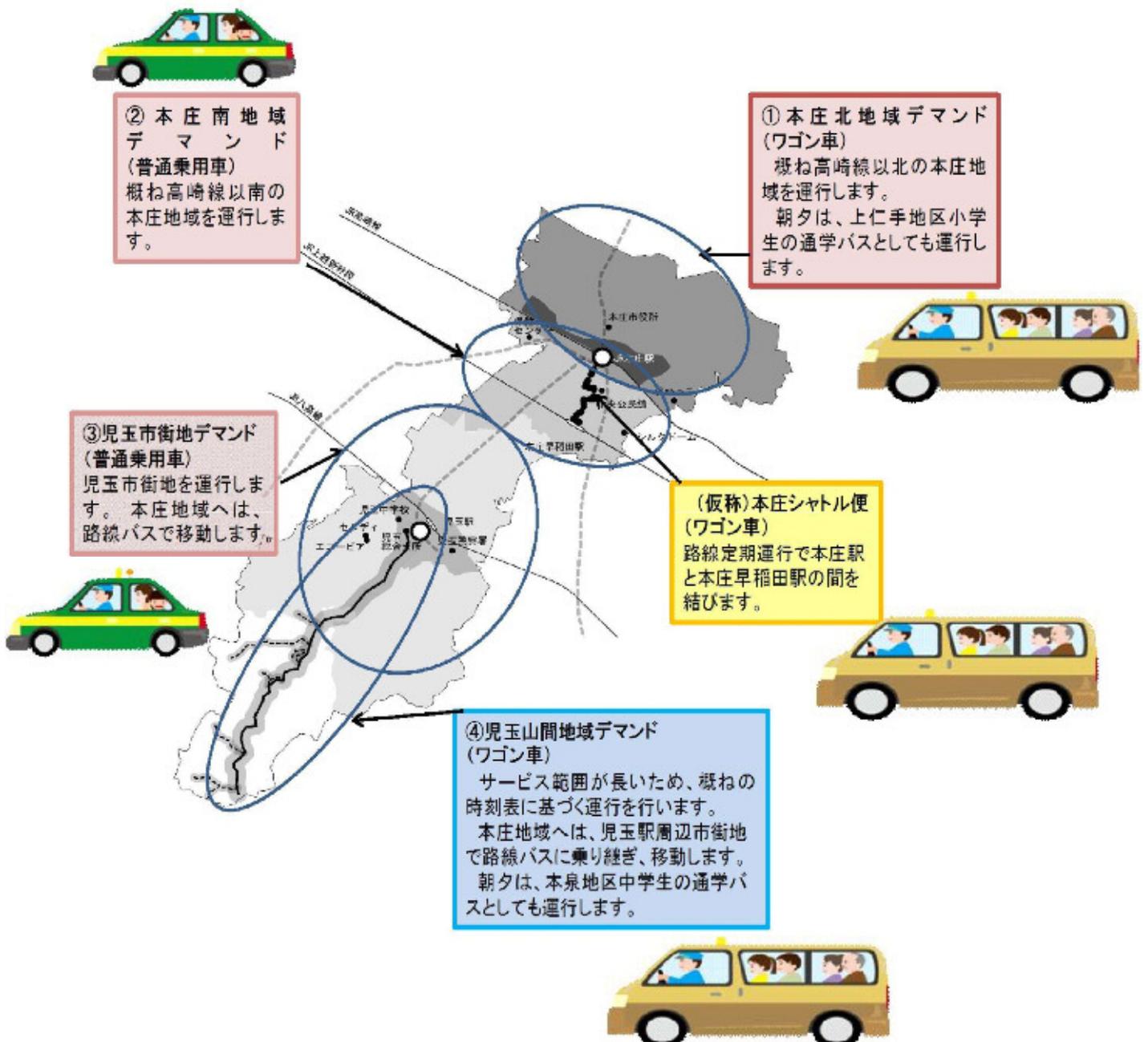
➤ 「（仮称）本庄シャトル便」って??

「（仮称）本庄シャトル便」は、「本庄駅」と「本庄早稲田駅」を9人乗り程度のワゴン車でいくつかの停留所を経由して定期運行をします。

【路線概要】

- 路線長：約3.5km
- 所要時間：15分程度（片道）
- 最少運行間隔：30分
- 停留所数：8か所（本庄駅、本庄早稲田駅含む）

○新しい市内交通サービスイメージ○



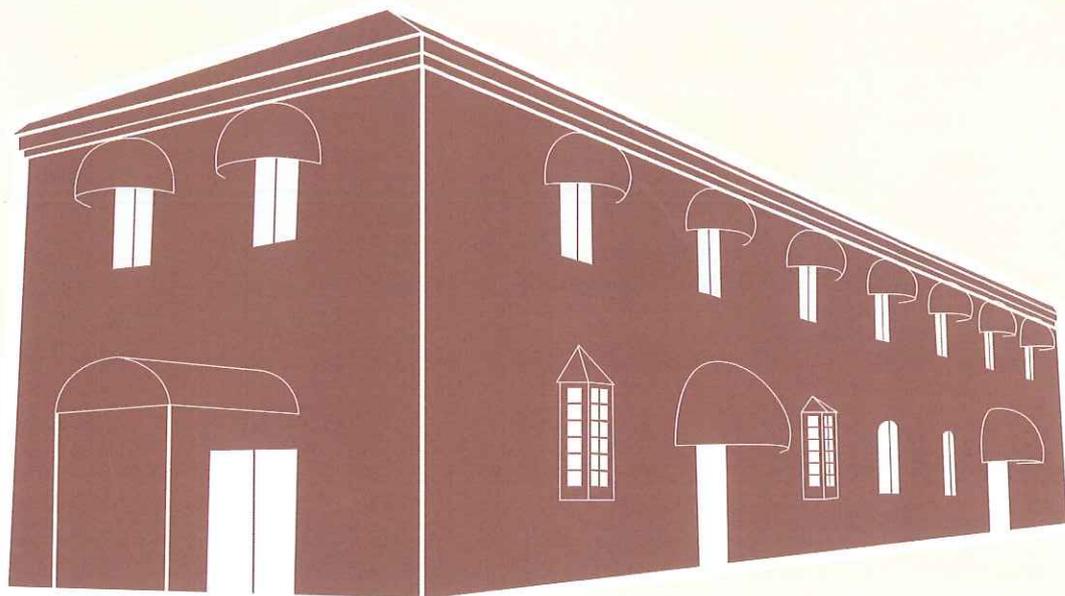
2013 6.1 [土] 9:00-17:00 / 6.2 [日] 9:00-12:00

建物の一般公開と企画展示

「旧本庄商業銀行煉瓦倉庫と本庄のあゆみ」

会場 | 旧本庄商業銀行煉瓦倉庫 (旧ローヤル洋菓子店) / 本庄市銀座 1-5-16

明治29年に清水店(現在の清水建設株式会社)によって建てられた旧本庄商業銀行煉瓦倉庫(旧ローヤル洋菓子店)の一般公開と企画展示、今後の保存・活用について考えるシンポジウムを開催します。ぜひ、お越し下さい。



旧本庄商業銀行煉瓦倉庫の これからの考えよう

これからは、市民も使えるの？

価値のある建物なの？

ずっとこのまちに、
残していけたらいいな

2013 6.2 [日] 14:00~16:30

シンポジウム

「旧本庄商業銀行煉瓦倉庫の保存・活用を考える」

会場 | 本庄市役所 6階大会議室 / 本庄市本庄 3-5-3

主催 | 本庄市

申し込みは不要です。直接会場へお越し下さい。
お問い合わせ：本庄市企画課 (0495-25-1157)

建物の一般公開と企画展示

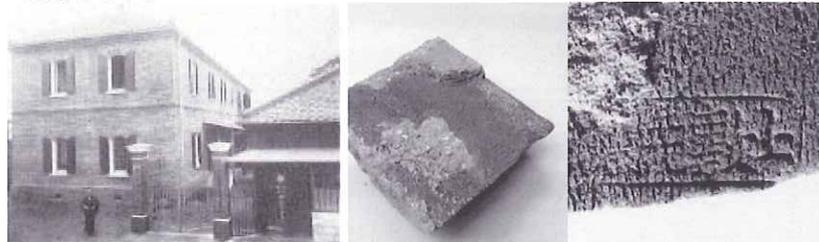
旧本庄商業銀行煉瓦倉庫と本庄のあゆみ

2013年6月1日 [土] (9:00—17:00)

6月2日 [日] (9:00—12:00)

会場 | 旧本庄商業銀行煉瓦倉庫 (旧ローヤル洋菓子店) / 本庄市銀座 1-5-16

平成 23 年まで、レンガ造りの洋菓子店として親しまれてきた旧本庄商業銀行煉瓦倉庫。この度の一般公開では、かつて蔵として使われていた旧本庄商業銀行煉瓦倉庫の建物内部をご覧頂けます。また、企画展示では、明治 29 年の建築から現在に至るまでの変遷、地域の中での歴史的価値や建築的特徴などを紹介します。



旧本庄商業銀行煉瓦倉庫 建設当初の写真資料 建物に用いられている煉瓦の一部に製造元が記されている

シンポジウム

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫の保存・活用を考える

2013年6月2日 [日] (14:00—16:30)

会場 | 本庄市役所 6階大会議室 / 本庄市本庄 3-5-3

14:00 開会挨拶

吉田信解 (本庄市長)

14:10 ■ 基調報告

1 「旧本庄商業銀行煉瓦倉庫のあゆみと歴史的価値」

中谷礼仁 (早稲田大学建築学科教授) / 新谷真人研究室 + 中谷礼仁研究室
2012年度、早稲田大学建築学科の中谷礼仁研究室と新谷真人研究室によって行った調査をもとに、旧本庄商業銀行煉瓦倉庫のあゆみと、歴史的価値をご紹介します。

2 「歴史的建築物の維持・保全の方法」

長谷見雄二 (早稲田大学建築学科教授)
歴史的建築物の維持保全や活用における注意点、管理の方法などについてご報告します。

3 「歴史的建築物の再生・活用の方法」

松本博之 (さいたま NPO センター)
埼玉県内を中心に、歴史的建築物の保存再生の事例や、市民による活用の事例をご紹介します。

休憩

15:10 ■ パネルディスカッション

「市民が創り育む〈旧本庄商業銀行煉瓦倉庫〉」

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫の保存や活用の可能性について考えます。また、どのような方法で建物を活用していくのが良いのか、市民と行政との協働の方法や活用に向けた今後の進め方についても議論を深めていきます。

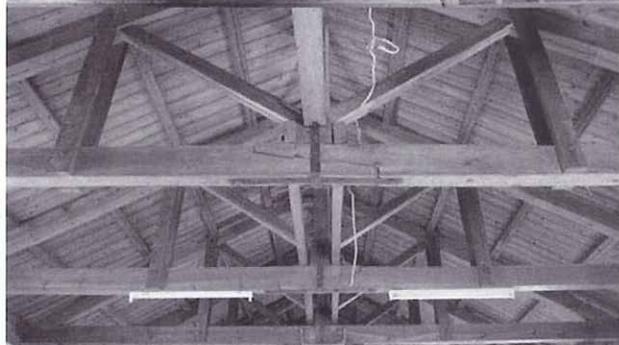
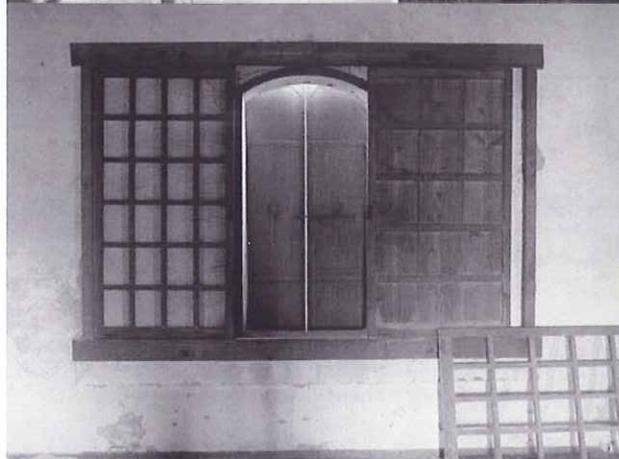
パネリスト: 阿奈正子 (まちの駅ネットワーク本庄代表理事)
菅野公夫 (麓原会メンバー)
戸谷正夫 (本庄まち NET 代表)
吉田信解 (本庄市長)

コーディネーター: 佐藤宏亮 (早稲田大学建築学科助教)

16:20 総括

後藤春彦 (早稲田大学建築学科教授)
松本博之 (さいたま NPO センター)

(16:30 終了予定)



※ 開催当日は旧本庄商業銀行煉瓦倉庫の駐車場は、建物見学のためご利用頂けません。車でお越しの方は、市民プラザ跡地又は市役所の駐車場をご利用ください。

新種のメダカ「はにぽん」をご紹介します



- 特 徴
- 頭に黒茶のすじがある
 - 目が丸くて大きい
 - 体色が黒茶

地元、本庄の元小山川で自然に育っていたメダカを繁殖させました。

よい色の黒いめだかを選別し、それにパンダメダカをかけあわせて品種改良をしました。(現在メダカ協会では仮認定)

また、それまで黒いパンダメダカはいなかったため、新品種「ブラックパンダ種」として認められました。

問い合わせ：清水昭紀（日本メダカ協会会員）

090-3087-4767



NPO 法人ネットワークひがしこだいら が

「観光マップ」を作成しました。

本庄市児玉町小平を中心とした地域の自然、文化を守り育てている「NPO 法人ネットワークひがしこだいら」が小平地区の観光マップを作成しました。

観光マップはA3判のマップを四つ折りにしたA5判です。

本庄市観光センター（本庄市児玉町小平653 電話 0495-72-6742）で配布しています。



問い合わせ先：NPO 法人ネットワークひがしこだいら TEL0495-72-6742
(本庄市観光農業センター内 木曜定休)

百体観音堂と高窓の里

こだいら

伝統文化が息づき

ふるさとの郷愁が漂い

人と自然が共生する小平

高窓の里

日本の原風景に

会いに来てみませんか